



平成二〇年度は『ひたちに交流と連帯とおもいやりの輪をひろげよう』今、私たちにできること』をスローガンに”市P連にしかできないことをやる”というぶれない目標を掲げてきました。そして、どうしたら子どもたちの教育力の底上げに寄与することができるか、家庭か等を考えつつ、市P連として各校PTA活動のためにどんなことが出来るのか？市P連に対して何が求められているのか？それをどうすべきなのか？といったニーズを把握し、組織内の各委員会を中心に、それらを具現化する活動を起こしてきました。

ここで市P連の組織について紹介いたします。日上市立小・中学校PTA連合会は、日上市内四十校の会長と各校の母親委員が集まり、相互の連絡協調を図るため、更に最近では、教育委員会をはじめとする各種関係団体との連携協力を図りながら、PTA活動の趣旨徹底とその発展のために活動している団体です。そして、その中で各校の会長を中心とした三つの委員会（生涯学習・未来・情報）と、各校の母親委員で構成される母親委員会を合わせた四つの委員会が、それぞれ独自に年間計画を立てて活動しています。さらに、市P連には、数年前から各校のPTAや他の広域PTA組織には無い、ちよつと変わった『幹事局』という独自のチームを置いています。これは会長の委嘱によって組織されるチームで、各校の会長や役員の実験者（現役会員の役員OB）で組織され、主に市P連から発信する情報や事業についてサポートする役目を担っています。いわば市P連の知恵袋的集団でもあります。このチー

ムが、各委員会にサポーターとして数名ずつ入り、活動を支えてくれます。ご存知のとおり、PTAという組織は「不連続の連続」といわれるように、毎年、メンバーが入れ替わります。各校PTA同様、市P連もまた毎年半数以上のメンバーが入れ替わります。その中で持続的な組織運営や質の高い活動を保つために、今や幹事局はなくてはならない存在となっています。

よく使われる言葉に「～の変化」というのがあります。この言葉のとおり世の中や時代は、一時として同じではなく常に変化しています。PTAがそうした変化に対応していくためには”こなすだけ”的な発想から転換し、市P連の幹事局設置に象徴されるような思い切った組織改革、アイデア、行動をスピーディに実行していくことが求められてくるのではないのでしょうか。もしも違っていたら、そのときは直せばいいんです。そのためには「誰かがやるから、なんとかするから」ではなく、気付いた人から行動に移す。たとえそれが小さな一歩だとしても、まずはやることを少しずつでもやってみようという、一歩を踏み出す勇氣と行動力が必要になってくるのではないのでしょうか。

最後になりますが、まもなく年度が変わります。それぞれに立場も変わる方もいらっしゃると思いますが、今後とも、子どもたちの明るい未来と笑顔のために、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。



平成20年度日上市立小・中学校PTA連合会のメンバーの皆さん、1年間ご苦労様でした

平成20年度は「ひたちに交流と連帯とおもいやりの輪をひろげよう」～今、私たちにできること～をスローガンに掲げ、茂野会長を中心に活動を展開いたしました。

- わたしたちの原点
- 親の背中をみて子は育つ
- 今、私たちにできること
- 交流と連帯
- みんなが主役
- 未来をかたちに



今年度を振り返って

日上市立小・中学校PTA連合会会長 茂野勝雄

～今、私たちにできること～

- ～目次～
- 今年度を振り返って [1]
 - 各委員会からの報告 [2]
 - 日本PTA全研大会報告 [4]
 - 日上市教育講演会報告 [5]
 - 市P連アンケート結果 [7]
 - PTAの智恵の足し [8]

各委員会からの報告

・未来委員会
・生涯学習委員会
・情報委員会
・母親委員会

「未来を変える 素晴らしい出会いを」

未来委員会委員長 沼田浩一

今年度の未来委員会は「一期一会」
未来を変える素晴らしい出会いを」と
いうテーマで日立市教育講演会に向
けて活動してきました。

出会いによって、人は良くも悪く
もなってしまう。子どもを持つ
親として、子どもたちには、素晴ら
しい出会いがあつて欲しいと願つて
おります。また、保護者の皆様にも、
同じように良い出会いがあることを
願つております。その出会いの一つ
が教育講演会を通じて与えられれば
と思います。

今年度は、昨年度の宮本延春先生
の「オール1の落ちこぼれ教師にな
るゝ素晴らしき夢と人との出会い」
に引き続き、「出会い」をテーマと
した、廣中邦充和尚による「フォー・
ユー」出会いに感謝を」というテー
マで講演を頂きました。

未来委員会では、講演会を多くの
方に聴いて頂くことと、みんなで知恵
を絞りながら、活動をしてきました。
会場が、市民会館からゆうゆう十
王に変更となるハプニングもありま



したが、講
演会当日は
会場も満員
となり、他
委員会の皆
さんの協力

もあり無事に終了することが出来ま
した。そして、何よりも講演会に参
加いただいた多くの方から感動の言
葉を頂いたことが嬉しい事でした。

一年間、委員長という大役を務め
させて頂いた頂きましたが、未来委員
会のメンバーをはじめ、茂野会長、
市P連幹事局及び事務局、教育委員
会、教育研究会の方々の協力により、
日立市教育講演会が無事に終えるこ
とが出来ましたことに心から感謝い
たします。

今後、日立市教育講演会を通じ
て、未来を変える素晴らしい出会い
を与えられればと思っております。



「単Pの バックアップ請負人」

生涯学習委員会委員長 梅原郁夫

今年度は、「単Pのバックアップ請
負人」をテーマとして、十名の委員、
三名の常任委員、一名の幹事局員、

そして、私の計十五名で活動して参
りました。主な活動内容は
一「三回の単P会長会議の充実」
二「PTA活動のお役立ちツール作成」
の二項目としました。そして、まず
はじめに、単位PTAに対するアン
ケートを実施し、各校の特色ある行
事や単Pの抱えている実際の悩みな
どを、各会長方に再度認識・確認し
て頂きました。

また、「第二回単P会長会議」に
おいては、日立市内四十校中二十二
校の会長が一年目であることに注目
し、「単P会長の役割について」と、
同じ立場の会長としての「助け合い
と連帯感」を強めて頂けるようディ
スカッション形式の会議を計画しま
した。これにより各会長のPTA活
動に対しての考え方を深め会長同士
の連帯が図れたことと思います。

「第三回単P会長会議」では、「今、
子どもたちの置かれている状況」に
焦点をあて、「ケータイ・インター
ネット」の危険性と問題点を取上げ、
PTA会長として、PTA会員（保
護者）に対するアドバイスや、携帯
電話を子どもに与える場合のルール
づくりにつ
いて議論しまし
た。この
結果、保
護者とし



結果、保
護者とし

て知っておくべき「基本のルール」
を作ることが出来ました。今後は、
子どもたちからの意見を組み入れる
等、実態に即した新たな「ルール」
を作成し、市P連HPに掲載するこ
とによって、「ケータイ・インター
ネット」の被害から、子どもたちを
守ることに尽力できると思えます。

また、昨年度の「単Pお役立ちツ
ール」のバージョンアップ版として、
PTA活動に携わる方々に役に立つ
ツールづくりを進めました。

◆PTA組織・会議説明集

◆PTA行事計画作成マニュアル

◆おすすめ行事紹介集

◆PTA用語の基礎知識

を作成しHPに掲載することが出来
ました。ぜひ、PTA関連の方々
に有効に利用して頂たいと思います。

今年度の当委員会は、各自に役割
を分担し、単P活動のバックアップ、
および連帯意識の構築を目指し、メ
ンバー全員の熱い思いと協力によつ
て活動を続けて参りました。メンバ
ーの皆様、本当にご苦労さまでした。

新年度の生涯学習委員会メンバー
になれる皆様、連帯意識の益々の
構築に向けて、「グループディスカッ
ション」の継続実施と「お役立ちツ
ール」内容の一層の充実を計り、「単
Pを支える市P連II市P連を支える
単P」という連帯の「わ(輪・和)」
を強固なものに育んでいって頂きた

する第二分科会Cに参加しました。
 この分科会を選択したのは、昨今急速に普及が進む携帯電話・インターネットについて、子どもたちにとっては負の断面ばかりが強調される中、活用の仕方によってはその利便性を大いに享受でき、かつPTA活動活性化のツールとなり得ることから、理解を深めたいと思ったからです。
 分科会の具体的な内容としては、はじめに「学校と保護者の架け橋、お知らせネットの挑戦」と題し、千葉市立緑が丘中学校PTAの携帯メール配信の取り組みが紹介されました。共働きの家庭が増え、忙しい保護者が増える中で、「保護者の負担を極力少なくして学校と家庭のコミュニケーションを図るには」どうしたらよいか、という課題に取り組んだ研究発表でした。内容的には「学校からの配布文書などの情報が、さまざまな理由から確実に保護者の手元に届かない」といった事例に対する情報伝達のロスやリスク回避のための活動報告でした。学校からの情報は保護者なら誰も知ることがないので、多くの保護者がそれに共感し、メール配信リストにも速やかに登録すると思われる。しかし、登録など操作の面倒さから、思ったほどメール配信リストへの加入者が伸びないといった現状が報告されました。メール配信システムについては、

日立市内の学校でも既に導入されているところもあるようです。配信の内容や使用ソフトなどはさまざまですが、概ね導入の目的は果たされているようです。
 続いて「インターネットの光と影を学ぼう」と題し、宇都宮市立陽東中学校PTAの取り組みが紹介されました。子どもたちが利用する携帯・インターネットの問題は今や大きな社会問題となっています。しかし、その携帯やインターネットについては、実は大人があまりよく理解していないのでは？という現実に着目し、同校PTAでは、保護者・教師・地域までも巻き込み、子どもたちといっしょになった「共育」を実践し、年間にも及ぶ長期的な取り組みを実践しているとのことでした。
 これら各校の発表を聴き、ITがここまで普及した現代社会では、子どもたちから、ただ単に携帯やインターネットを遠ざければ済むという問題ではないこと、メディアリテラシーをはじめとする正しい活用方法などを子どもたちに教えるのはもちろん、私たち大人も常に現状を把握し共に学ぶ必要があることなど、多くの課題や問題を実感することができました。そして、今後の取り組み姿勢の大切さをあらためて認識いたしました。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

日立市教育講演会報告

未来委員会委員長 沼田 浩一

『フォーユー』

～出会いに感謝を～

講演：廣中邦充和尚
 平成二十年十一月二十三日(日)

昨年度から、この教育講演会は、教育委員会と教育研究会、そして日立市立小・中学校PTA連合会（日立市P連）の三団体が主催となって開催することとなり、教育振興大会の第二部に位置づけられました。三者の協力により今年度も素晴らしい講演会となりました。

講演会は、日立市P連未来委員会を中心となり、三団体での会議によって計画から運営を行ってきました。

今回は、都合により日立市民会館からゆうゆう十王Jホールに開催場所が変更されましたが、会場は満席となり参加者の皆さんの笑いと感動の涙で埋め尽くされました。

今年には講師に、浄土宗・西居院（さいきよいん）第二十一代住職で、やんちゃ和尚こと『廣中邦光和尚』さんをお招きしました。

講演会当日、茂野会長と私で日立駅まで廣中和尚を迎えに行くと、笑

顔と握手で私たちに挨拶をしてください、和尚さんの心の温かさで強いオーラを感じました。

和尚さんは、会場に到着するやいなや、早速、和尚さんの到着を待っていた少年の相談に乗ってくださいました。講演会が始まるとすぐにステージから降り、会場の中を歩きながら、参加者と握手をしながら、熱い講演をされました。

これまでに五九七人の子供たちがお寺を卒業し、現在、十五人の子供たちがお寺で生活しており、さらに、全国から二〇〇九人もの子供たちがお寺に入りたいと順番を待っています。



客席まで降りて、私たちのすぐ近くで話してくれた和尚さん！



廣中和尚さん！ありがとうございました！

和尚さんはおっしゃいました。「子供の心の痛みや叫びに親が気付いていない。非行に走ったり、家出や自殺をしてしまうまで親が気付かない。そんな親は親ではない！学校が悪い、先生が悪いと人のせいにする、そんな世の中になつてきている。ちよつとした行動の変化、心の変化を掴みとることが本当の親である。」さらに「日立市の子供たちは、日立市中で、地域の子供たちは地域で、是非守つてやつて欲しい」とおっしゃっております。

「フォー・ユー」子供たちのために地域のために、そして家族のために是非頑張つてほしい！
・と熱いメッセージを頂きました。

最後に和尚さんは、ご自身の携帯電話番号とメールアドレスを会場のみんなに教えて講演を終了しました。

今回は、和尚さんの好意により、講演会終了後に相談会を設けていただきました。相談することができた八組の皆さんは、相談室から出てきた時、すっきりとした表情に変つていたのが印象的でした。

今後教育講演会でこのようなすばらしい出会いを贈れるよう、そして、私自身が出会つて感謝されるような人間に成長しなければならぬと感じた講演会でした。

今回は、参加された方々の反響が大きく、感想をいただきましたので、紹介いたします。

「廣中邦充和尚のプロフィール」
一九五〇年愛知県岡崎市生まれ。
浄土宗・西居院（さいきよいん）第二十一代住職。大正大学仏教学部卒業。
塾・会社経営を経て、一九九〇年に父の跡を継ぎ住職となる。現在、非行少年や引きこもりの子ども達を無償で自宅に預かり、共同生活をさせることで子ども達を社会に復帰させる活動を続ける。
「平成の駆け込み寺」として、TVや雑誌でもその取組みが紹介されるなど注目を集める。
日立市からも入所の順番を待つ子ども達がいる。

参加者から寄せられた

「メッセージ&手紙」

和尚さんの話を参考にして、子どもと向き合つていけたらと思うようになり、とつても励みになりました。

話を聞いて気持ちが少し楽になつて帰つてきました。また明日から子どもと、新たな気持ちで向き合つていける気がします。

大人の色々な事情で子どもは苦しんでいるんですね。

今、中学校も荒れちゃっているから心配だね。せめて、自分の子どもの悲鳴だけは、解かる大人にならないとね。

寺子屋なんて大げさなものじゃないけど、私のしていることに賛同してくれているようで、とつても励みになりました。

うちでご飯を食べたことを、いつの日か思い出の一つとして懐かしく思つてくれたら嬉しいなあ。

一緒に行つたお母さんも、来てよかつたつて言つてたよ。何かあつたら和尚さんに電話してみるそうです。

「和尚さんと会つて」

匿名(十三歳)

十一月二十三日、私は和尚さんに会いました。

初めて会つたのに、和尚さんはいきなり私の名前を呼び捨てして、きつくハグしました。あまりされたことが無かつたので驚きましたが、その時のハグは苦しくて煙草臭くとても印象強いハグでした。

そんな私が和尚さんを知つたのは、一年前です。当時不登校だつた私は不規則な生活をしていました。

ある日、いつも通りテレビを見てみると、「やんちゃ和尚」というのが放送されていて「悩みをかかえる子供たちを無償であずかる」なんて凄いいことをしているんだなあと思つて最初は興味本位で見えていたんですが、ずつと見ていくうちに和尚さんに心から尊敬を抱くようになっていきました。この頃から会いたいと思うようになったんだとおもいます。

和尚さんに会つたとき、予想通りの人だつたので嬉しかつたです。私の勝手な想像では優しくて厳しくておもしろくて人を安心させてくれる人なんだろうなと思つていました。和尚さんはそのままの人でした。

たつた二、三時間でしたが、私にとつてとてもいい経験でした。会つてよかつたなつて本当に思いました。それに和尚さんの笑顔は素敵だなと思つた。また日立に来たとき、挨拶に伺いたいと思います。どうかそれまでお元気でいて下さい。

市P連アンケート結果

PTA会長アンケート 生涯学習委員会

問 単P会長が考えるPTAの目的とは

第1位(10校)

◆安全・安心して学べる環境づくり

安全快適な環境/よりよい学習環境/地域環境/教育をのびのびと出来るような環境

第2位(9校)

◆子どもたちの成長と健全育成

人間らしく育てる/健全な心身の発展/健全な成長/生きた社会教育/自由にのんびりと

第3位(5校)

◆自己啓発

自らが楽しみながら/大人が勉強をする場でもある/親が自らを育む機会:等

問 PTAに必要と考えられている力は

第1位(16校)

◆先生・保護者・地域の連携・協力

学校・地域社会がその役割と責任を分担し協力/保護者・教師・地域が三位一体と/先生や地域の方々との多くのネットワーク構築

第2位(6校)

◆先生と保護者の連携・協力

父母と教師が綿密な協力/親たちも先生も皆が顔見知りとなって仲間になって:等

第3位(5校)

◆学校や地域に行く機会の創出

学校に行く機会を数多く/地域活動の入口/P T A活動での姿を子どもに見せる:等

第4位(3校)

◆保護者の連携・協力

母親だけでなく父親も気軽に参加/P T A会員が力を合わせ:等

問 子どもたちの防犯パトロールについて

◎実施しているパトロールの特徴

第1位(29校)

◆登下校時の子ども達を見守る活動

子ども会単位で立哨指導/自警団が下校時を警護/子どもを守る推進会が毎週1回/通学路でも1人になるところまで保護者が

出迎え/毎週水曜日に学校が見送り下校/学区防犯パトロール隊員と一緒に登下校/腕章をつけて注意喚起:等

第2位(9校)

◆夏休みやイベント時等にパトロール

夏休み/冬休み/学期末/夏祭り/イベント実施時:等

第3位(3校)

◆夜間防犯パトロール

危険箇所夜間/防犯・非行防止活動:等

第4位(2校)

◆散歩や日常生活での見守りなど

コミュニティによる買い物や庭の水撒き時の見守り/散歩や生徒の送迎えに専用ジャケット着用/P T Aが地域自警団として活動/防犯パトロール員を公募・任命

問 連携強化を図るためには

第1位(9校)

◆連携・協力した活動の率先垂範

地域の青少年相談員と/親父倶楽部会員、先生と/オヤジの会中心に/自治会・中学校・小学校・ボランティアが協力/地域住民の見守り/夏休みは子ども会がパトロール:等

第2位(7校)

◆防犯組織などの設立

子ども見守り隊/子ども会育成会に生活指導委員選任/ボランティアで自警団が発足/見守りボランティア/防犯サポーター

第3位(3校)

◆会議における情報共有など

各学期に1回「子どもを見守る活動」代表者会議/代表者会議を2ヶ月に1度開催/2ヶ月に1度コミュニティの方々とは情報交換

母親委員会アンケート

母親委員会

問 《1》九月十六日「講演会『子どもの命を守る』」

受動喫煙と子どもの健康被害

問 感想及び今後の対策は?

★家庭環境が大きい。喫煙者がいると喫煙が身近なものに。父親が講演へ参加すべき

★中学校生徒・先生への講演開催。先生が外で喫煙しているがみつともない

★父親に直接講演を聞いてほしい

★子どもの前にタバコを置かない、喫煙のきっかけを与えない

★子どもが素直なうちに教育指導を!

問 《2》グループ討議「四十問直感アンケート」

問 子どもとの関係が上手いと思っている、上手くないと思う理由は何?

★朝の挨拶など、返事をするまで言い続ける

★些細なこと、くだらない事でも会話をする

★父親と娘の関係がうまくいっていない。それ以上言わなければ良いのに

★友達の事は話すが、自分の事はあまり話さない

★役員をしていると、学校の様子も分かる

★小学生と一緒に風呂に入っているうちはうまく行っている事かな?

問 子どもたちの行動を把握(コントロール)しているか、把握していないか、把握していない理由は何?

《中学生保護者》

★部活の活動内容、学校の行事を把握

★部活の友達とかかわり、親同士の連絡

★親も子どもの友達と仲良くしている

★外出時は何をしているのか分からない。言う事を信用するしかないが、心配事も多い

《小学生保護者》

★子どもの友人関係を把握しているので大丈夫

★小学生は、まだ行動範囲も狭いので安心

問 携帯、パソコン、TV、子ども部屋、家庭でのルールや親の考えについて

《中学生保護者》

★携帯だと嘘をついても分からないので不安

★心配な事もあるので持たせられないし、できれば持たせたくない

★基本料金内にする。ロックをかけない等の約束を守らせる

★パソコンはリビングにあるので使っている姿が見られる

★リビングで勉強等で過ごす事が多く子ども部屋は寝るだけ

《小学生保護者》

★使用は宿題してから等の約束をしている

★テレビは録画する等、つけないように工夫

★食事の時はテレビを消すのを習慣化

★なぜ食事中消すかを納得出来るように説明

問 親子にとって、家庭とはどんな場所?

《中学生保護者》

★中学生になると、学校に行き、友達や先輩の前で外の顔を作るようになる。頑張っている自分を見せているので、「ほっ」とした本来の自分に戻れる場所、安心した環境を作っておきたい

★追い討ちをかけるように「勉強しなさい」「片付けしなさい」と言わないようにしたい

★部活などでうまくいかない時に、ストレスから開放されたいと思うので、家に帰っている話を聞いてあげる

★中学生は忙しいので気を使わなくて良い環境を作っておきたい

《小学生保護者》

★やすらぎの場所、リラックス出来る場所

★未来へ繋ぐ愛のバトン

《小・中学生保護者》

★生まれてきてくれて、本当にありがとう

★親として、いつでもあなたの味方です

★私たちは、いつでもあなたを見守っています

